

令和元年度第1回大阪府医療対策協議会議事概要

日時：令和元年7月12日（金曜日）14時00分から16時00分

場所：OMMビル 2階 201会議室

【議事概要】

◆ 議題

(1)「初期臨床研修医の募集定員について」

(2)「医師確保計画（骨子案）について」

○臨床研修医の募集定員のうち、今年度の最終配分調整人数（7名）について、配分希望のあった45病院のどこに配分すべきか評価項目に基づいて議論した。

○大阪府において、医師確保計画を策定するうえでの今後の課題と方向性について議論した。

（議題1についての意見）

- ・配分希望したが配分されなかった病院に対して、どのような特色を出せばよいかを伝えるべき。
- ・卒後臨床研修評価機構の認定を受けるべき病院に対し、理由等を聞き、今後どのように取り扱っていくのかを考えるべき。

（議題2についての意見）

- ・医師確保計画を策定するうえで、地域の実情を踏まえ、人口動態を含めた医療提供体制をしっかりと考えていくべき。
- ・産婦人科に関して、総合周産期・地域周産期の医師確保が難しいため、重点的に計画を策定するべき。
- ・周産期医療において、産婦人科及び小児科に関して、しっかり役割分担を行い、連携をしていくべき。
- ・調査を通じて、医療提供体制の方向性についても示して欲しい。
- ・将来、女性医師が増えることにより、どの診療科の医師が増え、又は減るか等も考えていくべき。
- ・医師確保計画・地域医療構想・医師の働き方改革を三位一体で議論すべきというからには、全ての整合性をしっかりと取るようにするべき。
- ・救急について、二次救急と三次救急は分けて考えてはどうか。

（その他についての意見）

- ・専門医養成募集定員に対するシーリングについて、厚生労働省に対して、改めるよう強く要望をしていくべき。
- ・大学からしっかりと病院に医師派遣をしていただけるような体制を作り上げていくべき。
- ・地域枠において、大学と大阪府で3名の増員を要望するため厚労省に説明をしてきた。将来地域枠の数が減らされた場合のためにも、地域枠の活用方法を具体的に対策するべき。

◆ 検討結果

- ・評価点及び二段階評価による評価点の高い7つの病院に配分する。
- ・卒後臨床研修評価機構の認定については、取り扱いを整理する。
- ・周産期医療と産婦人科及び小児科に関して、現行の医療体制にどのような影響を与えるのか、医師確保を今後議論する中で検討していく。
- ・医師確保計画・地域医療構想・医師の働き方改革については、三位一体で議論を進める。
- ・専門医の募集定員に対するシーリングについて、しっかりと厚生労働省に要望する。
- ・地域枠については、将来のことを見据え具体的にあり方等の対策を検討する。